

伊賀忍者：伊賀流忍者博物館と資料館の紹介

忍者の役割は敵対勢力の間諜であったので、彼らは自分の家でも必ずしも安全ではなかった。忍者の家は普通の農家のように見えるが、家には多くの秘密が備わっていた。壁板は隠れ場所への秘密の入り口であることが多く、偽装された床板と天井は武器や秘密文書を隠すところであった。押入れの棚を引き下げると階段に変わり、忍者は天井に姿を消し、上から侵入者を見張ることができた。仕掛け扉と押入れは、入り口が塞がれた場合の外への脱出口であった。目の高さの見張り穴と偽の壁板によって、忍者が周囲を監視できるようにしてあった。この忍者の家を探検しながら、忍者があなたを見つける前に、あなたはいくつ秘密を見つけるか数えてみてください！